

ミキリの採集記録に関する情報をいただいた鈴木和利氏にお礼申しあげる。

#### 引用文献

窪木幹夫・柴田孝尚・田中直(1977)

群馬県・仁加又沢におけるヒメハナカミキリの生態調査—特にその垂直分布と訪花性について—  
New Entomol. 26(1・2):15-24

窪木幹夫(1980)

カミキリムシ科ヒメハナカミキリ属の訪花性。日生態会誌, 30(2):133-143

浦田和義・水野弘造(1982)

紀伊半島よりプロイニングヒメハナカミキリ。月刊むし, (135):29-30

\* 東京都世田谷区大原1丁目47-15

## 神戸・明石近海地域の主な蛾(その1)

松本健嗣\*

神戸・明石方面のトベラ、カクレミノ、ヒメユズリハ、ウバメガシ、オニヤブマオ等海岸地方で多く見かける植物の自生している地域の蛾について少し詳しく調べ度いと思っている。小生永年この地域に住んでいながらまだ徹底した採集調査は試みていない。本格的調査はこれからの課題なのであるが取敢えず予告篇のつもりで本誌紙面をお借りしこれ迄の採集品中から主な種を選んで報告する次第である。また理科作品展で見た学童の採品も併せて公表させて頂く。採集者名は一応省略する。

ヘーネアオハガタヨトウはじめ従来の図鑑等に産地の一つとして神戸の名が記されている例は大方1947年迄の旧神戸市すなわちこの域内で得られたものによるのであろう。確かにこの方面には布引、太山寺真山等見事な暖帯樹林が残されている場所があるが地形は急峻で、地質は風化し易い酸性火成岩であり表層の腐植土の発達は左程芳しくはない。位置が日本列島の中央部であることも蛾類の実態がかなり解明された現在ではやゝ魅力に乏しい嫌いがある。土地柄遠隔の原産地からやって来た種に遭遇する機会も多いと思はれるし専ら植栽された植物でのみ繁殖している種もかなりあるだろう。尚今迄調査の拠点であった拙宅周囲の環境についても触れて置く必要があると思うが、それは花岡岩々盤が露出した谷川のほとりの瘠悪地で言うに足りないお粗末な場所である。それに今では周囲に家が建てこんでしまった。

\* 神戸市長田区花山町2丁目14-6

1. アヤニジュウシトリバ *Alucita flavofascia*  
 1967年5月26日1♂1♀ 自宅  
 拙宅では以前からよく灯火に飛来する。
2. ニジュウシトリバ *Alucita spilodesma*  
 1982年7月10日1♂ 自宅
3. ツゲノメイガ *Glyphodes perspectalis*  
 1972年9月15日2♂♂1♀ 自宅  
 以後よく注意しなかったが1982年6月16日、再び1♂を自宅灯火で採集した。
4. スギタニマドガ *Rhodoneura sugitani*  
 1982年7月4日1♀ 自宅  
 小生にとってこれが本種の最初の採集体験である。
5. モリヤママドガ *Herdonia osacesalis*  
 1982年6月16日1♂ 自宅  
 本種も自宅では以前からよく灯火に飛来する常連の一つである。
6. ムナブトヒメスカシバ *Trichocerota constricta*  
 1973年7月3日1♀ 自宅
7. ヒメアトスカシバ *Paranthrene pernix*  
 1982年6月22日1♂ 明石市山陽電車林崎駅。1978年8月27日1♀ 自宅  
 通常6・7月にヘクソカズラで見る普通種。ツタ、ノイバラにつく例も知られている。8月下旬  
 に見る例は小生にとって上記の一例だけである。
8. コシアカスカシバ *Aegeria molybdoceps*  
 1977年8月16日1♀ 自宅  
 庭のコナラ(径35cm)に来ていたもの。通常晩夏にクヌギ林で♀をよく見るが神戸では2頭得  
 たのみ。
9. ハチマガイスカシバ *Glossosphenia contaminata*  
 1967年7月30日1♀ 西区伊川谷町太山寺
10. クビアカスカシバ *Aegerosphenia romanovi*  
 1977年7月27日1♀ 垂水区名谷町奥畑
11. ウスバツバメ(マダラガ科) *Elcysma westwoodii*  
 1982年10月6日2♀♀ 自宅  
 山ノ手の住宅地に多いが山間ではイヌザクラ、ヤマザクラ等に幼虫がつく。
12. キスジシロフタオ *Epiplema cretacea*

- 1982年8月2日羽化1♂須磨区一ノ谷  
ヒメユズリハの葉を二つ折りにし中にいたもの。
13. ヒメクロイラガ *Scopelodes contracta*  
1962年7月2日1♀自宅  
1967年8月26日1♀垂水区海岸通国道2号線  
以前庭に植えていたカキ(富有?)に毎年発生していたが事情によりこれを伐り払って以来姿を消した。山間ひとり生えのカキでは見たことがない。
14. ウスミドリナミシャク *Sauris nigri-linearia*  
1982年9月5日1♂ 長田区東丸山町
15. クロミスジシロエダシャク *Myrteta angelica*  
1962年10月16日1♀ 灘区青谷
16. ウスズミカレハ *Poecilocampa populi*  
1963年12月15日6♂♂ 垂水区名谷町奥畑  
村落内の街灯(裸電球)に飛来していたもの。北区山田町に産することは既に本記に記した。
17. マガリキドクガ *Euproctis curvata*  
1972年6月26日須磨区妙法寺町字蓮池(今は団地になっている)の谷間の小さな溜池のほとりのシャシャンボの低木上に終令幼虫態で静止していたものである。28日産卵7月20日になって本種♀が既に羽化していることに気づいた。幼虫の写真は不鮮明に終わったために公表できなかったが体色は濃茶褐色でドクガ(*E. flava*)よりやや大きく褐色斑に赤味がなく特に毒々しさは感じない。各体節背面の隆起は左程著しくはない。シャシャンボに食痕はなく食草とは断定し難い。すぐ背後にはリョウブ、ソヨゴ、ヤマモモ、アラカシ、ネズミモチ、ヤブツバキ、クロマツ等が小暗く密に茂っていた。こう云う環境はこの方面には今も随所に残っている。大阪箕面公園、枚岡神社ではかなりの個体が採集されている。
18. キアシドクガ *Ivela auripes*  
1982年6月26日1♂1♀ 中央区再度谷  
神戸市街地背山の二次林地帯にはクマノミズキが断然多いためか梅雨明けの頃谷間を群飛する様は壮観でもある。
19. クロフシロヒトリ *Spilosoma(spilarctia) lewisi*  
1965年5月5日1♀ 長田区高取山(作品展)  
小生兵庫県では但馬段ヶ峯で得たのみ、大阪箕面でも採集されている。
20. エゾヨツメ(ヤママユガ科) *Aglia tau*  
1965年5月3日1♂ 須磨区妙法寺町(作品展)

以下はヤガ科

21. クビグロケンモン *Acronicta digna*  
1975年8月20日1♀ 西区伊川谷町小寺  
昼間沼沢に面した雑木林中のエノキの幹に静止していたものである。カキツバタを食害すると云う報告がある(誘蛾燈№60 1975)。
22. ワモンキシタバ *Catocala fulminea*  
1961年7月9日1♂ 兵庫区里山町  
神戸では意外に少い種である。
23. ウスイロキシタバ *Catocala intacta*  
1965年7月10日1♂ 中央区布引(作品展)
24. ヒメアケビコノハ *Othreis fullonica*  
1972年8(?)月1♂ 長田区上池田町(作品展)
25. ソトジロツマキリクチバ *Arytrura muscals*  
1962年7月10日1♀ 自宅
26. キシタアツバ *Dichromia claripennis*  
1977年7月2日羽化1♀ 垂水区名谷町奥畑  
オニヤブマオについていたものである。

以上今回掲げた種は二・三を除けば如何にも二次林地帯らしい産物であり、しかも落葉樹林的な種が多い。次回以降はもっと常緑樹林的なものが掲載できるよう努力するつもりである。

## 宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(続報その2)

新 家 勝

### I はじめに

宝塚大橋の照明燈で採集した蛾については、本誌第9巻第1号以来、報告しているが、今回は1982年中の採集品について報告させていただく。なお、今回もまた、採集場所について「宝塚市」を省略して記載する。